ファッション教育 2022

一般財団法人
日本ファッション教育振興協会

日本におけるファッション教育の知識・技術の向上を図るために創設された財団法人です。繊維ファッション・流通分野の人材育成のための「ファッションビジネス能力検定」、リテール・小売企業で販売を担当する人材を育成するための「ファッション販売能力検定」、ファッションビジネスの現場で必要とされる色彩スキルが身につく「ファッション色彩能力検定」、アパレル企業の生産部門における人材育成のための「パターンメーキング技術検定」などの検定試験と検定テキストの発行を行っています。また、全国の服飾系学校の学生を対象とする「ファッション画コンクール」、教育功労者の顕彰、産業界と協力して開催する講演会、研修会など、ファッション教育の確立と振興を目的に活動しています。

第37回 全国服飾学校 ファッション画コンクール 大臣賞決まる！

文部科学大臣賞

瀬﨑 莉佳
上田安子服飾専門学校
ファッションクリエイター学科

この度は、文部科学大臣賞という名誉ある賞を頂き、大変光栄に思います。また、まさか自分がという驚きの気持ちもあり、大変嬉しい気持ちであります。

私は人間の成長過程にとても興味があり、「じゃあ100年後の人間の姿はどうなっているのかな」と不思議に思ったことが、このデザイン画を描いたきっかけになります。不思議な成長を遂げていく人間だからこそ、予想もつかない姿になってしまう可能性もあると考え、それを止めてくれる未来人がいれば、いつまでも今のままの姿の人間でいられるのではないかという願う思いを込めて、このデザイン画を描きました。

今回のデザイン画は学生生活最後のチャンスということもあり、とても時間と労力をかけて描いたものになります。

約6年間服飾を学ぶ中で、日々沢山の先生方からのご指導があり、個性豊かな仲間たちと切磋琢磨してきたからこそ、自分に自信が持てるようなデザイン画を描けるようになりました。この様な素晴らしい賞を頂戴したことは、暖かい激励とこれからへの期待が込められているものだと思い、気持ちを引き締め、これからも精進して参ります。本当にありがとうございました。

経済産業大臣賞

ジャン ビョングォン
文化服装学院
ニットデザイン科

この度、第37回全国服飾学校「ファッション画コンクール」にて経済産業大臣賞という栄えある賞を受賞したことを大変嬉しく思っており、このご報告を受けたおかげでとても幸せな年末を過ごせました。これまで自分を指導して下さった文化服装学院の先生の皆様のお陰であると実感し、心から深く感謝しております。私は自分自身の作品に対して満足できないことが多いため、これまでに落ち込むときも多かったですが、今回の受賞で自分の作品への愛情が深まり、将来の夢へ一歩近づけたきっかけともなりました。この貴重な経験をいただき、大変光栄に思います。

今後とも初心を忘れずに、より良い作品が描ける人に成長できるよう頑張りたいと思います。また、一層の努力をいたす覚悟で研究し続け、ファッション業界に貢献したいと思っております。

ごあいさつ

理事長
濱田 勝宏

3年目を迎えるコロナ感染による未曾有の社会的混乱は、私たちの健康と生活を揺るがすだけでなく、社会や産業の仕組みさえも変容させようとしています。すなわち、社会や生活文化そのものを根本から考え直させ、今なお「コロナ後の在り方」を模索させています。加えて、DXが叫ばれる一方でグローバルな課題としてのSDGsも強調される今日です。私たちが関わるファッションビジネスにおいても、過剰生産による大量廃棄や、環境問題が注目されるに至っています。

今後は、業界構造が大きく変容し、企業経営や資金運用そして人材育成においてグローバルな挑戦が求められる時代に変わるものと思われます。そして、ツールとしてのDXがより進展していくなかで、その根幹となる「人間の感性」とそれを裏付けるための「専門知識や理論的な技術」の習得機会の創出と、産業界に必要な人材育成の支援が当協会にとって重要な課題となることを認識し、さらに発展させていかなければならないと考えている次第です。

そのためにも基幹となる四つの能力技能検定（パターンメーキング、ファッションビジネス、ファッション販売、ファッション色彩）においては、継続して産業界への「価値の訴求」に取り組むとともに、今次の感染症等における受検環境への対応も含めて、IT化を推進していくための整備にも取り組んでいく所存であります。

一方、研修事業、シンポジウム等の展開につきましても産官学の繋がりを活用し、相互に研究課題を共有しながら、関係される人々がともに学び、活用できるステージを設定できるよう努めていきたいと存じますので、今後とも会員皆さまのご協力を心からお願い申し上げる次第です。

ション画コンクール入選者発表

文部科学省総合教育政策局長賞

専門課程

花田 るり
香蘭ファッションデザイン専門学校
ファッションデザイン科

高等課程

田丸 夏未
学校法人古屋学園
二葉ファッションアカデミー
ファッションデザイン科

経済産業省商務・サービス審議官賞

専門課程

平栗 亜瑞美
名古屋モード学園
ファッションデザイン学科

高等課程

横井 里帆
アンファッションカレッジ
ファッション総合科

一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞

専門課程

楊 青意
文化服装学院
デザイン専攻科 オートクチュール専攻

高等課程

舘 優希奈
明美文化服装専門学校
服装科

一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞

専門課程

小川 麻結
名古屋モード学園
ファッションデザイン学科

高等課程

花木 愛奈
小井手ファッションビューティ専門学校
ファッションビジネス科

全国服飾学校協会会長賞

専門課程

林 麗香
上田安子服飾専門学校
トップクリエイター学科

高等課程

畦坪 愛留
東洋学園高等専修学校
ファッションビジネス科

優秀賞（7名）

専門課程
小菅 彩乃 東京モード学園
ナタシャ 文化服装学院
日田 葉月 上田安子服飾専門学校
玉城 愛華 上田安子服飾専門学校

高等課程
遠藤 小桜 山本学園情報文化専門学校
ムニョス アケミ 中央学園高等専修学校
辻井 晴夏 東洋学園高等専修学校

佳作（27名）

専門課程
喜瀬 未来 織田ファッション専門学校
中村 香帆 杉野学園ドレスメーカー学院
小泉 歌乃 専門学校青山ファッションカレッジ
銭 坤 東京ファッション専門学校
藤田 明香里 東京モード学園
山口 空叶夢 文化服装学院
大塚 乙妃 足利デザイン・ビューティ専門学校
田向 祐希 横浜ファッションデザイン専門学校
美原 希保 国際トータルファッション専門学校

伊藤 佑衣 ヴィジョンネクスト情報デザイン専門学校
竹下 夢乃 中部ファッション専門学校
森 龍生 中部ファッション専門学校
ISHII CANCELLA JACKELINE SAYURI 中部ファッション専門学校
谷澤 里紗 名古屋モード学園
西臺 凛 大阪文化服装学院
徳野 結南 大阪文化服装学院
石井 あみ 大阪モード学園
辻本 花鈴 上田安子服飾専門学校
山口 祐典 上田安子服飾専門学校
見坂 若菜 神戸ファッション専門学校
岡 梨玖 小井手ファッションビューティ専門学校
原田 莉奈 香蘭ファッションデザイン専門学校

高等課程
井澤 那央美 学校法人平野学園清凌高等学校
濱本 雛多 香蘭ファッションデザイン専門学校
山本 さくら 安城生活福祉高等専修学校
村松 サユリ 山本学園情報文化専門学校
奥 幸悠 東洋学園高等専修学校

（敬称略・順不同）

第37回 全国服飾学校 ファッ

ファッション画最終審査風景

【講評まとめ】

「文部科学大臣賞」に選ばれた作品は、しっかりと未来を見据えた「リアル感」を具現化しているところの表現が評価できました。

作品自体のデザインレベルも高く、新型コロナウイルス感染症によって学業においてもリモート学習へと大きく学びの場が変化したなかで、他の学生との差別化、独自性（個性）が作品に強く表現されていると感じられました。そのことが自分自身のブランド力を育てる起因となった部分でもあるのではないかと思えました。

また、デザイン性や時代性、世界観がイラストから強く感じられ、今回選考した作品の中でも圧倒的なインパクトを持ち、加えてイラストの面白さと作画の上手さが素晴らしく感じられました。

「経済産業大臣賞」に選ばれた作品は、しっかりと自己のデザインコンセプトを主張し、他の人にも分かりやすく表現している点、また自分の主張したい的（まと）を表現できている点が良い評価に繋がったと感じました。

昨今ではファッション性やアート性を重視している傾向があり、世の中も「アート」という人間のリアルな部分を比較する時代において、市場性を求めていくなかでは、どれだけリアルな形でデザインを描くかという視点がその作品を評価する傾向が見られました。

【作品全体】

今回受賞された作品については、クリエイターが表現してくれるパワーや何を主張したいのかという「兆し」が見え、その中でその人の表現力や世界観をしっかりと伝えられた作品が受賞されたように思えます。やはり、これからは受賞作品同様に「クリエイターの世界観で引き付けていく時代」になってきたのかと強く感じられる部分があり、今まで評価してきた視点が古臭く感じられた印象を受けました。また使いたい素材感を上手くデザインに落とし込むことで新たな表現方法や幅の広い視点がこれからの時代には求められてくるのではと感じました。

〈審査員〉

株式会社ヒロココシノ
代表取締役副社長
小篠 ゆま先生

Support surface Co.Ltd
代表取締役社長
研壁 宣男先生

株式会社繊研新聞社
記者
河邑 陽子先生

全国服飾学校　ファッション画コンクールについて

次の時代を担う、感性豊かなファッションクリエイター育成のために

日本のファッション産業を魅力と活力ある産業にするためには、なによりも産業を支える有為な人材、これからの産業を担っていく様々な人材の育成が必要ですが、とりわけ国際的な競争力を持つ、魅力的なファッション商品の発想・開発ができるデザイナーやクリエイターなど、高い専門能力を持ったスペシャリストが待望されています。

全国の服飾系学校の学生を対象とするこのコンクールは、こうした状況を勘案し、学生に目標を与え、ファッションにおける創造やデザイン能力向上を図るために、文部科学省、経済産業省、一般社団法人日本アパレル・ファッション産業協会の後援を得て行っており、令和3年度で37回になります。

このコンクールへの応募基準は、専修学校の専門課程（高卒以上が入学）と高等課程（中卒以上が入学）の学生・生徒が、自ら発想・デザインしたもので、学内選考を経た未発表のオリジナル作品に限られます。応募点数は、都道府県官公庁に届出のファッション関連教育課程（各課程）の定員数を基準にし、100名未満を5点、100名以上250名未満を10点、250名以上500名未満を15点、500名以上1000名未満を20点、1000名以上を30点とし、今年度も多くの学校より優秀な作品が寄せられました。第一審査を経てテーマは「今私が着たい服」で、80校より549点の応募がありました。

文部科学大臣賞／経済産業大臣賞ほか授与

「最も優れた作品で、感覚性の高いもの」に対し文部科学大臣賞、「最も優れた作品で、市場性の高いもの」に対して経済産業大臣賞が授与されます。これらに次ぐ優秀な作品には、文部科学省総合教育政策局長賞および経済産業省商務・サービス審議官賞が授与されます。そのほか、一般財団法人職業教育・キャリア教育財団理事長賞、一般財団法人日本ファッション教育振興協会理事長賞、全国服飾学校協会会長賞などが授与されます。

日本ファッション教育振興協会は、ファッション教育の充実・向上・振興を図るために多くの方々にご協力をいただきながら様々な事業を推進していますが、その中で服飾学校教育の振興を通じて社会の進展に尽力した功績顕著な教育者を顕彰する制度があります。全国都道府県より候補者の推薦を受け、服飾教育顕彰選考委員会での審査の後、被受章者を決定し、毎年、服の日記念行事として顕彰式を開催しております。顕彰式では、長年にわたる服飾教育への貢献を称え、「服飾教育功労章」が授与されます。

赤澤 結花 先生
ドレスメーカー学院

この度は、服飾教育顕彰功労章のような栄誉な章を頂き、大変感謝しております。

これからも、この仕事を続けていく上で、大きな励みとなりました。

30数年、紆余曲折しながらもここまでやってこれたのは、助手のころからいろいろな経験をさせていただき、育てていただいたことの賜物であると確信しております。特にテキスタイルに関しては、実習だけではなく、早くからアパレル素材論の授業を受け持たせていただいたことで、専門的な知識を積み重ねることができ、現在の自分の基礎固めとなりました。30年以上たった今もそれが活かされていると感じられる場面に出会う次第です。

溢れるほどの情報が錯そうする現代においても、基本を忘れることなく、そして上手く情報を取り入れながら、己の経験値を増やし学生に還元していくことができれば幸いです。これを機に学生に向けての更なる指導力に注力し、精進していく所存です。

川村 明美 先生
札幌ファッションデザイン専門学校DOREME

2021年度、服飾教育顕彰功労章を頂戴しましたことを、とても嬉しく大変光栄でございます。どうもありがとうございます。

いつも輝きと元気を与えてくれる学生達と、ファッションを通して繋がらせていただき支えてくださっているみなさまへ、心より感謝を申し上げます。

札幌ファッションデザイン専門学校DOREMEへ、入学、進学して来てくれる学生達との繋がる輪が、日毎に大きくなっていく様子にとても幸せを感じております。

自分自身、「物や事や人」に興味を持ち、楽しめていることで、色々な分野へ「繋がらせてもらえている」と感じていることを、学びやコミュニケーションを通して学生達へも伝わり「人生って楽しいなぁ」と、思ってくれることをいつも願っています。

これからの将来、学生達の果てしない可能性や願いなど、ひとつでも多く花開くサポートが出来、社会背景や教育環境が、更に充実することを願い、微力ではございますが尽力いたします。

このたびは本当にありがとうございました。

野口 清美 先生
神戸ファッション専門学校

この度は、2021年度「服飾教育顕彰功労章」を賜りましたこと、心から感謝申し上げますとともに厚くお礼を申し上げます。

あっという間に43年余りの歳月が流れました。しかし、結果としてこのような永きにわたり、神戸ファッション専門学校という場で学生のファッション教育に少しでも貢献できましたことを誇りに思うと同時に、職場の内外でご指導いただきました皆様方に、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。

学びは人生のチャンスであり、また挑戦でもあります。次世代を担う学生には好奇心や想像力を持ちながら幅広い教養を身につけ、夢を追い続ける人であって欲しいと切に願います。私自身もまだまだ研鑽を積み、学生の成長を見守りつつ、日々努力を重ねていく所存です。

今回の受章を励みに、今後とも微力ながらさらに社会に貢献できるよう、一層の努力をして取り組んでまいります。

本当にありがとうございました。

最後ではありますが、今後ともファッション教育界と日本ファッション教育振興協会のますますのご発展をお祈り申し上げます。

2021年度 服飾教育顕彰表彰

主催 一般財団法人日本ファッション教育振興協会／全国服飾学校協会　**協力** 一般財団法人職業教育・キャリア教育財団

中尾 誠美 先生
東洋学園高等専修学校

このたびは服飾教育顕彰功労章を頂戴し、誠に光栄に思っております。今回の受章は、私をここまで導いてくださった先生方の、ご指導のおかげだと心から感謝しております。

私が服飾に興味を持ったのは、幼いころに母が人形の服を作ってくれたのがきっかけでした。小さなハギレが母の手縫いで形になった時は、本当に感動したことを今でも覚えています。それからは母に教えてもらいながら、自分でも人形の服や、小物、簡単な洋服まで作るようになり、物づくりの楽しさを実感しました。専門学校卒業後も縫製の会社に就職をし、技術を磨いてきました。3年程経った時に、恩師から、その技術を後輩に教えないかと声をかけていただき教員として働き始めました。今考えると、生徒から教わったことも私の財産であると思っています。

私が教えるうえで大事にしていることは、技術を一方的に教えるだけではなく、一緒に作品に取組み、完成できた達成感を共に感じられる関係性を重視しています。

これからも、大好きな物づくりの楽しさを教えながら、自分も成長し続けたいと考えています。

本日はありがとうございました。

山内 祐子 先生
文化服装学院

このたびは服飾教育顕彰功労章をいただけますこと、誠に身に余る光栄と存じます。

恩師でもある先輩の先生方に導いていただき、また同僚や後輩の先生方に多くのことを助けていただいて今があると痛感しています。そして企業の方々から、授業や就職指導に活かせるご助言をいただくことができ、自信をもって学生に向き合えてまいりました。本当に多くの方々のご指導、ご支援あっての受章です。この場をお借りして心より感謝申し上げます。

私は、服飾教育の中でも、帽子を中心としたファッション小物の授業に携わってまいりました。外出するときには、アクセサリーも身に付けて気持ちアップ！必要なものをバッグにつめて！そして靴を履いたら……今日のファッションが仕上がります。服と同じように大切なアイテムであると常に実感しながら、学生とともに〝モノづくり〟に取り組んでまいりました。

社会の変化と共に求められる〝モノ〟のあり方。また、その〝モノ〟の提供のしかた。従来のことにとらわれない発想力が今後も増々求められていくのだろうと思います。

教員生活も残り少なくなってまいりましたが、日々、学ぶ気持ちを忘れずに服飾教育に励んでまいりたいと思います。

村田 達弥 先生
文化服装学院

この度は「服飾教育顕彰功労章」をいただきましてありがとうございます。毎年服の日の表彰に参加させていただきましたが、多くの活躍された先輩方がとられているこの章をまさか自分がいただけるとは微塵も考えておらず、嬉しいというより驚いたというのが率直な感想です。

私は文化服装学院卒業後、教員として25年、その後広報で12年間仕事をしてまいりました。

教員時代はコンピュータの授業を通して、教えるという仕事の面白さを強く感じました。学生のスキルを上げる方法を考える、文化祭等のイベントで学生たちと一緒に活動するなど、毎日遅くまで大変でしたが楽しい時間でした。

その後広報に移り、直接授業をする事はなくなりましたが、今のSNS時代を考えると、学生の満足度を上げることが広報としてとても重要であると感じ、クラスを超えた特別講義、イベント、コラボレーション、テレビなど学生が楽しく学べることを行ってきたつもりです。ここ数年入学希望者が多いのはとてもうれしい結果だと思います。

学生の満足度向上は、教員だけではなく、学園全体が一体となって行う必要があると思います。今後も微力ながらそのお手伝いが出来ればと考えております。

この度はありがとうございました。

2年目を迎えたコロナ禍における新たな教育、学習への取組み

文化服装学院

学院長　相原 幸子

文化服装学院は、コロナ禍の学生の安全を第一に三密を回避した授業を行っています。感染拡大状況に応じて、オンライン授業と少人数の対面個別指導のバランスを取りながら学生対応をしました。

例年、11月に開催する文化祭もオンラインを活用した「オンライン・フェス」に切り替え、2月の卒業制作ショーも感染状況を踏まえて動画配信にさせていただきました。

オンライン授業については、通学時の授業を受けていた学生達が「リアル授業とのギャップを感じているのではないか」との懸念から、オンライン授業を受けた在校生に「アンケート」を実施し、結果は在校生にフィードバックしました。

アンケートは、学院全体で実施し、その結果、講義の手法別、オンデマンドやライブ型等オンライン授業の系統別によって各メリット、デメリットがあるものの「オンデマンド型の授業（教員が事前に録画した映像、音声、スライド等を配信し、学生がそれを視聴して学習する方法）は、約半数以上が満足した結果となりました。

手元がよく見られる、分からない所が何度も確認できるという点が評価を得ました。このため、オンラインの良さも見出せました。しかし、オンライン授業は一定の学習効果を担保する一つの手段として今後も活用できると評価いたしましたが、それだけではない教育こそが文化服装学院の特色だと考えています。

ファッション教育は日進月歩ですから、サスティナビリティをキーワードとする世界的な潮流が加速するなかで、最新デジタルの活用、推進にも力を注ぎ、立ち止まらずに邁進していく所存です。

香蘭ファッションデザイン専門学校

学校長　深田 勝久

世界で猛威を振るうパンデミックの影響で、専門学校での既存の教育方法を考えさせられました。

教育の原則として感染対策を講じながら、如何に学生に教育を提供し、同時に成果もあげていくのかを明確にせねばならない。その結果「密」を回避し、教育を提供するにあたり、健康面や授業の進捗管理をオンラインで実施していたのは弊校も同様であります。

服飾系の学校で唯一懸念された事は、「技術教育」だ。配信技術と知識が未熟な中で、どのようにオンラインで実施すれば良いか、また学生の進捗具合をどのように測るかなど、実施方法と効果に関して不透明な事が多く、そのため、各学校では毎日緊迫した状態が続き、職員全体で知恵を出し合い、一丸となって取り組まれたのではないだろうか。

弊校の例では、全てでは無いが、学生に分かりやすく技術の要点をうまく抽出できるよう、技術実習を行う際、手元のクローズアップカメラを導入しており、オンラインでも要点を伝えるのは難儀ではなかったように感じている。

又、前年度末に次年度の緻密なカリキュラムの構築をしており、各授業は前年度の講義に対してPDCAでチェックをし、翌年の指導方法を探究している。更に、年度末まで全ての授業を年間カレンダーに落とし込んでいるため、授業の進捗状況を把握しやすく、不測の事態にも柔軟に対応出来たことだと考えている。

特別な取り組みというわけではないが、考えられるに、日常の準備が万全だったこと、職員が常に教授方法研究するという、真摯に学生に向き合う教育者としての姿勢が功を奏したと考えている。

オンラインを実施するにあたり、必要機材をはじめ、通信環境など、まだ研究不足な点もあるが、各職員DXに関して視野が広がり、ハイブリッドでの教授方法について意識が変化したのは事実である。

今後も不測の事態に備えるだけで無く、日頃の準備を怠らず、常に学生に対して「分かりやすさ」を追求し、DXに関しても研究していきたいと考えている。

「これからは自分を磨く時代」

プロとして

検定では1級はビジネスマンや社会人に向け、2・3級はファッションを学ぶ学生を中心とする方のための検定試験という大まかな枠組みを持って実施しています。

1級は業界の経験者、それも生半可なものではなく業界全体を広く理解しているかを試す試験であり、その難易度はビジネスに通じた専門知識となり、合格率は20％前後です。特に近年FB検定、FS検定へのビジネスマンの受験が増えています。プロとしての誇りだけでなく企業内の資格制度や研修成果などにも利用され、まとまっての受験も増えています。この2検定は、やはり実務経験がモノを言うため学生には道は険しいのですが、大学で商学・経済を学んだ専門学校生も受けています。FBを教える教員には必須で、合格者も多くいます。一方PM検定は高度な技能はもちろん、スピードや丁寧で正確な仕事ぶり、クリエイション力など、確実性を求められる試験です。これもプロのパタンナーが中心ですが、今や3～4年の学生、しかも学校をあげての受験が急増しています。東京・大阪で2ヶ所別日程で行っています。FBやFS検定も増加に伴い、同日ですが東京に加え、大阪でも行うことがあります。

FC検定では、ファッション分野の諸業務の中で、色彩情報を客観的に収集・分析し、商品や店舗における色彩計画を立案する力を有します。また、ファッションに関する色彩の専門家として、その知識や理論を活用し、実践における色彩活用に対して適切なアドバイスができます。A、B（マークシート）、C（記述、実技）の3科目から構成されており、現役中堅の販売職の方やその他ファッション関連業種の方が受験され幅広いスキルアップに繋げています。

協会だより

パターンメーキング技術検定（略称ＰＭ検定）

当協会のＰＭ検定は創設当初より文部省（当時）から厳しいチェックを受けながら高い技術とクリエイション力を取得しているかを確認する唯一の公式検定です。ＰＭ技術（実技）と筆記試験から成ります。

一昨年より2、3級試験が同日実施ではなくなりそれぞれ年1回ですので出願期間に注意ください。また、試験会場は2級が7都道府県、3級は全国26ヶ所のそれぞれ指定会場で行われます。詳細は２０２２年度（4月発行予定）の「受験案内」を参照してください。

ファッションビジネス能力検定（略称ＦＢ検定）

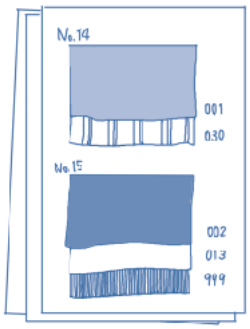
❶ＦＢ検定はここ数年社会人(アパレル系)、ビジネスマンの受験が増えています。すさまじい勢いで変わる業界にあって、やはりファッションビジネス知識を知っておくこと、きちんと整理をして業界の全てを見渡せること、これらをしっかり確認できるのがこの検定。もちろん学生の時から早く取っていれば、業界に出ても恐るに足らず。がっちり1級目指して、一つ一つがんばっていきましょう。

❷永らく使用されてきました『ファッションビジネス』のテキストが新版として、先ず2級が２０１９年12月に発刊されました。また、3級の新版も完成し２０２２年2月20日に発刊されました。基本の内容はより丁寧な解説と、更に各項目で日々刷新されるファッションビジネスの動向を反映した内容となっています。検定受験の参考書としても大いに役立てください。

ファッション販売能力検定（略称ＦＳ検定）

❶この検定の広がりぶりは特記に値するものです。3級でいえば、まずは短大・大学生の参入が著しく増加しています。ファッション界への就職求人も販売分野は多く、また入社後も広く専門分野として要求されることも多く、エキスパート化していく要素もあるので、がっちり学習して資格を取っていこうと思われます。また専門学校生においても異分野、例えば商業ビジネス分野や美容分野の専門学校から受験にトライされています。さらに高校生の受験生も増えています。アパレルの科を持った高校はもちろんですが、普通高校から、そして一般大学からとファッション業界へ就職される方やファッション大好きな方たちも参入しています。

❷2級の検定は、社会人、ビジネスマンそして何といってもファッション企業からの受験生が急増です。一般大学からの新入から2、3年を経たまだ経験の浅い社員や全国各店舗で働く店長及びそれに準じるクラスなどの受験が増えています。企業によっては内部の資格制度などに上手く活用されている企業も出て来ています。これは大変難関といわれる1級の検定とも連動して受験されています。



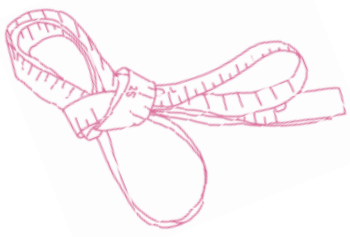
❸一昨年4月に発行の『ファッション販売能力検定2級公式問題集』、昨年4月に『同3級』が発刊されました。これは２０１８年に一新した『ファッション販売』２及び3のテキストに準拠するものです。ぜひ『同２』ともどもご利用ください。

❹兼ねてより学と産が一体化した検定をと勧めてまいりましたが、真の販売プロフェッショナルを認め、さらに高みを極めようとする『日本販売員プロフェッショナル協会』と手を結び、昨年第一回の検定が開催されました。販売のプロを認定するため、5年以上の現場実践と様々な試験を経て認定され、厳しい審査のある〝真の販売プロ〟を目指しています。そのうちの試験科目『知識』部門で当協会のＦＳ検定2級以上を取得している方は科目免除となります。ぜひ今後有効にご利用ください。

ファッション色彩能力検定（略称ＦＣ検定）

❶一昨年より、年度末の1月1回にまとめて行っています。テキストの評判もいいため、1年間の授業科目に採用している学校も多く、他の協会や会社が行っているカラー検定とは異なり「ファッションカラー」にすべて特化したものとなっています。ＦＣ検定は、ＦＢ検定、ＦＳ検定とも関係のある検定です。

❷ＦＣ検定については2級と3級試験が午前と午後、別々に行われるので併願も可能です。



認定試験

検定試験ではありませんが、自分の実力がどのくらいあるのか、学校内で洋裁、和裁の理解度はどのくらいあるかの力量を推し量るための試験に「日本洋裁技能認定」と「日本和裁技能認定」の2つの試験があります。ともに日本の伝統に立った「洋裁」と「和裁」の技能の実力をみるもので、公式な検定ではなく各専門学校単位で申し込み実施されます。「ＰＭ検定」と「洋裁認定」とのはっきりした違いはＰＭ検定は筆記に加えて重要な実技試験があるのが特徴です。一方、「洋裁認定」は筆記だけになります。「和裁」はかつて日本和裁教育協会が実施していたものを引き継ぎ実施しているものでこちらも筆記試験のみです。

協会出版物案内

書籍名	定価(税込)	本体価格	判型	頁数	ISBN
ファッションビジネス3級　新版　2022年2月20日発刊	2,970	2,700	B5	242	978-4-931378-40-7
ファッションビジネス2級　新版	2,970	2,700	B5	276	978-4-931378-37-7
ファッションビジネス能力検定試験3級 項目別試験問題・解答集　改訂版	1,572	1,429	A5	264	978-4-931378-33-9
ファッションビジネス能力検定試験2級 項目別試験問題・解答集	1,572	1,429	A5	266	978-4-931378-10-0
ファッションビジネス能力検定試験 1級過去問題・標準解答集	1,870	1,700	B5	170	取次なし
ファッションビジネス用語辞典　改訂第3版	3,300	3,000	四六判	449	978-4-931378-34-6
パターンメーキング技術検定試験3級ガイドブック　改訂版	2,990	2,718	A4	285	978-4-931378-11-7
パターンメーキング技術検定試験2級ガイドブック	2,990	2,718	A4	248	978-4-931378-06-3
パターンメーキング技術検定試験3級 試験問題解答・解説集　改訂版	1,885	1,714	A4	148	978-4-931378-31-5
パターンメーキング技術検定試験2級 試験問題解答・解説集　改訂版	1,885	1,714	A4	164	978-4-931378-32-2
ファッション販売3	2,310	2,100	B5変型	214	978-4-931378-35-3
ファッション販売2	2,310	2,100	B5変型	194	978-4-931378-36-0
ファッション販売3 ―ファッション販売能力検定3級公式問題集	1,650	1,500	A5	248	978-4-931378-39-1
ファッション販売2 ―ファッション販売能力検定2級公式問題集	1,650	1,500	A5	248	978-4-931378-38-4
ファッション販売能力検定 1級過去問題・標準解答集	1,980	1,800	B5	142	取次なし
ファッション色彩〔Ⅰ〕	2,305	2,095	A5	190	978-4-931378-22-3
ファッション色彩〔Ⅱ〕	2,934	2,667	A5	284	978-4-931378-26-1
ファッション色彩能力検定試験3級問題集	1,152	1,047	A5	148	978-4-931378-23-0
ファッション色彩能力検定試験2級問題集	1,466	1,333	A5	166	978-4-931378-27-8
その他					
洋裁技術認定試験問題集	2,137	1,943	B5	170	取次なし
和裁技認定受験案内	1,100	1,000	B5	76	取次なし
和裁初級編	3,739	3,399	B5	284	取次なし
和裁中級編	2,885	2,623	B5	174	取次なし
和裁上級編	4,060	3,691	B5	302	取次なし
副読本　〈関西ファッションカレッジコンソーシアム発行〉					
ジャケットのパターンメーキング基本編　改訂版Ⅲ ―パターンメーキング技術検定1級副読本―	3,750	3,409	A4	149	取次なし

公式オンラインショップ
https://fashionedu.base.shop

全国の書店でもご注文承ります
但し、ISBNコードがあるもののみご注文いただけます。取次なしの書籍は、公式オンラインショップをご利用ください。
出版社名：一般財団法人日本ファッション教育振興協会

ファッション教育2022
令和4年3月31日発行
発行人　濱田　勝宏
発行所　一般財団法人日本ファッション教育振興協会
〒151-0053 東京都渋谷区代々木3-14-3 紫苑学生会館2階
TEL 03-6300-0263　FAX 03-6383-4018
http://www.fashion-edu.jp
（無断転載を禁じます）